

圓だより

第 50 号

家族と協力

指導員 米谷 健太

前日圓に家族の方から要望がありました。「子どもに携帯を持たせてやってくれませんか」とのことでした。親御さんとしては子どもに早く携帯を持たせてやりたかったのでしょう。しかし圓では生活、仕事安定してからというルールが存在します。

また親がなんでも子どもに与えてしまうと、子どもが親に甘えてしまい、何かあれば親が助けてくれると思いき、私生活に影響が出る時もあります。自分で苦勞して稼いだお金で購入するからこそ、達成感が得られるし、次の欲しい物を購入しようというやる気にもつながります。

親の立場からすれば子どもは可愛い存在です。しかし時として心を鬼にして接しなければいけない時もあります。そうしないといつまでたっても子どもは親離れできないし、親も子離れできないものです。圓にいる時には親に頼らずに生活してほしいですが、親と子の関係なので線引きが難しいです。そのような時に親御さんから圓の方に気軽に相談してくれると園生に対してより良い支援ができると思います。圓の職員に気軽に園生の私生活の状況など、電話で聞いてもらいたいのですが、なかなか上手くいかない時もあります。圓にはいろいろな事情で入所しています。一人一人に合った支援を園生と親御さんにしていくのは、かなり難しいです。

自立した時にも少なからず親の手助けが必要な時もあるので、圓では園生との信頼関係も大事ですが、園生の家族の方との信頼関係、支援もしっかり強化していきたいと思えます。

児童 / ホーム会 11 月

議題

- ・ 今月の目標の進捗状況及びに来月の目標を発表（児童・職員）
- ・ 苦情・要望
- ・ 圓におけるインターネット環境
- ・ 金銭関係
- ・ 今後のホーム会の日程
- ・ 管理者と個別面談（希望者）
- ・ 調理実習（惣菜を使って丼）

11 月のホーム会は今月の目標進捗状況や来月の目標発表。

一人ひとり、今月の目標を達成し、新しい目標に向かってステップアップしている様子。自立を控えている園生は、期待と不安がある中で職員一同に思いを打ち明ける場面が見られました。

また今回は友達同士の金銭の貸し借りなどがあった為、クイズ形式で金銭トラブル（保証人・身分証明書の大切さ等）について話す機会を持ちました。

その後、希望者児童 2 名とホーム長による面談を行いました。

自分の要望を理由も含め述べられる児童、まだまだ自分の気持ちを伝えることが不得意な児童と様々。ホーム長が児童の声を聞く機会が限られている現状なので短い時間ではあるが、今後も継続して行っています。

調理実習 / 丼（お惣菜を使用）

面談が終わった園生から、調理実習を行いました。

今回のテーマは「お惣菜を上手く利用して丼物を作ろう！」
自炊をする機会が少ないので自立してから手頃に作れる料理に挑戦！予算 300 円以内で自分が好きな丼物を作りました。

自分で食材（レトルト食品や惣菜）をスーパーで購入。

給与前を設定して 300 円と予算はキツイ。計算の苦手な児童も自ら計算し、自分の食べたい丼を作ることができました。冷蔵庫の残り物でちゃっかりドレッシングを作る児童もいました。

しかしなんと言っても男料理ですかね。
色合いは茶色一色。贅沢を言えばお野菜をと
思ってしまうのをグット我慢して、今回は作



る楽しみを一番に考えました。

今回は、超スピードで調理をして超スピードで食した為、記録の写真が追いつかなかったのが残念。

今後も簡単な節約レシピに取り組んで行きたいと思います。

今回の学び

レトルトのカレーパウチをそのまま電子レンジで温めてはいけません。



入居者達の様子

・15 歳男児・・・学校、仕事とも元気に通っています。勤務先が変わり少し不安な部分もありましたが、日に日に慣れていきました。病院関係の職場となり、入院されている患者さんによってメニューが違うため、早く新しいメニューが作れるように学んでいる最中です。連携をとりながら支援を行っていますが、新しい職場での評価は大変良く、彼も生き生きと勤務しているようです。

圓での生活では、本児の不得意な部屋の片付けを職員の支援にのものと取り組んでいます。職員と本児との根比べです。また、家族と協力して規則が守れるように本児を支援していくこととなりました。

1 2 月の目標・・・仕事のスピードアップに取り組む。料理メニューを覚える。
部屋の掃除をし、清潔な部屋を保つ。

・16 歳男児・・・最近では、仕事に対する責任感が芽生え、食事の際に仕事場の話をよくしてくれるようになりました。社会人としてのマナーなども職員と一緒に考え、将来の自分の夢を語ってくれるようになり充実した日々を送っています。

真面目な彼は、仕事場での評価も高く、私生活では、貯金も順調に貯まり、部屋の掃除や衣服の整理整頓も綺麗にできています。今後の彼の成長が楽しみです。

1 2 月の目標・・・仕事のスピードを早める。部屋の掃除を頑張る。

・17 歳男児・・・自立を来月中に控えており、私生活では料理や部屋の掃除などを継続して取り組んでいます。退園後は会社の寮に入ることが決まったことで、自立する事への不安も大分減り前向きな気持ちで日々の生活を送っています。仕事場も新しい現場に異動になるので、心機一転気持ちを新たに頑張ってもらいたいです。

圓としても、退園後も会社と連携して支援を継続していきます。

1 2 月の目標・・・部屋の掃除を頑張る。自立に向けても頑張る。

環境 / 圓 農 園



朝晩めっきり寒くなりました。人間はちじこもってきましたが、圓農園の野菜たちは写真でのように元気に成長しています。

児童からは「もう収穫できるのじゃない?」「早く、食べようよ」という声が聞こえてきました。職員も同様、早まる気持ちはありますが、今は野菜さんにとっても最後の追い込み時期です。ここで少

しお預けして、甘味たっぷりの大根さんに成長してもらいましょう。

こちらの大根のほかにも白菜・さつまいもも成長中です。

一方、サヤエンドウは早くも収穫ができ、みそ汁にして夕食になりました。

12 月は大根をおでんにしたり、さつまいもは児童と芋ほりをして焼きいもにできたらいいなと考えています。

寒い中、自転車で仕事から帰ってくる児童に、暖かい食事とおかえりの笑顔で出むかえていきたいです。

利用状況 12 月 1 日現在（定員 6 名）

	15 歳	16 歳	17 歳
男子	1	1	1
女子	0	0	0
就労	調理	建設	建設
学校	定時		

編集後記: 早いもので今年も残り1ヶ月となりました。振り返って見ると、児童の支援に対してやり残した事がたくさん頭に浮かびます。後1ヶ月いやまだ1ヶ月あります。というより支援は継続的でありピリオドはありません。児童と向き合っていく姿勢で日々頑張ります。

ご相談・お問合せ受付

急激な社会変化の中で自立した生活を迫られた青少年の心の拠り所の「家庭」となり社会に適応できるよう生活・就労等の支援をしています。

入居ご希望の方、子育てに関する悩み・不安などをご相談お受けします。まずはお電話にてご連絡ください。秘密は厳守します。



〒761-8053

香川県高松市西ハゼ町 338 番地

TEL (087)813-772

FAX (087)813-7721

ホームページ

<http://nagomi-house.jimdo.com/>

メールアドレス

madoka753@sky.plala.or.jp

発行責任者 野田 大燈

